

東海マスタース2005大会要綱

- 開催日** 2005年9月24日・25日
- 開催場所** 木曽三川公園東海広場 (110m×110m)
- 主催** AJSKA中部支部
- 公認** AJSKA
- 大会事務局** 〒486-0945
愛知県春日井市勝川町6-9 ラポール勝川3B
AJSKA中部支部 立間 文章
TEL/FAX 0568-36-4209
Mail ftatsuma@mtc.biglobe.ne.jp
携帯 TEL 090-3935-0961 (荒天時の開催確認等はここに電話ください。)
- 申し込み** エントリー用紙に記入し、大会事務局宛 FAXまたは郵送で送ってください。エントリー費は大会当日受付にてお支払いください。
申し込み締め切りは9月17日(土)
- 開催カテゴリー**
- | | | | |
|---------|---------|------------|--------------------|
| デュアルライン | ノービスクラス | 個人規定 | (規定3種) |
| | オープンクラス | 個人規定 | (規定3種 テクニカルルーティーン) |
| | | 個人バレー | |
| | | ペアバレー | |
| | | チーム規定 | (規定3種 テクニカルルーティーン) |
| | | チームバレー | |
| | クワッドライン | オープン個人バレー | |
| | | オープンチームバレー | |

タイムスケジュールの都合上、すべてのカテゴリー合計で土曜日25エントリー、日曜日40エントリーがリミットとなります。エントリー状況によりタイムスケジュールの変更や締切日以前でも受付を終了させていただく場合があります。先着受付優先といたしますので、お早めのエントリーをお願いいたします。

- エントリー費** エントリー費(何種目でも可) 一人 3000円
AJSKA 会員以外の方は、大会保険料の補填として特別会費500円が別途必要です

台風等で競技を中止する場合は AJSKA の HP の掲示板に掲載いたします。できるだけ電話連絡もいたしますので、連絡可能な電話番号を記入御願いたします。

個人情報は次年度「東海マスターズ」案内希望の方以外は大会結果郵送後に消去いたします。

大会日程

9月24日		9月25日	
09:00	設営開始	09:00	受付開始
11:00	受付開始	09:30	パイロットミーティング
12:00	開会式 パイロットミーティング	10:00	オープン個人規定
		11:30	クワッドチームバレー
13:00	オープン個人バレー	13:00	ノービス個人規定
14:30	チーム規定	14:00	ペアバレー
15:30	クワッド個人バレー	15:00	チームバレー
		16:30	閉会式

大会ルール

基本的に IRB ルールを基準に進行します。

(大会前に IRB ルールの変更公表があった場合はチーフジャッジの判断で選択いたします。パイロットミーティングには必ず出席してください)

規定図形

ノービス個人規定	No1	No2	No7	
オープン個人規定	No5	No6	No12	(テクニカルルーティーン 1分~3分)
チーム規定	No6	No8	No11	(テクニカルルーティーン 2分~5分)

宿泊

当日は万博最終日となります。万博期間中はそれによる交通渋滞は会場周辺以外ではありませんので影響はないと思われませんが、名古屋市内のホテルはほぼ満室となっています。バンケットを名古屋市内で開催する都合上、主催者側で30名弱の予約は確保しております。宿泊希望の方はお早めにお知らせください。(先着受付といたします)

ホテルエコノ名古屋栄

名古屋市中区錦3丁目6-15 たての街5F~9F TEL 052-971-3311

<http://www.greens.co.jp/henagoya/>

宿泊料金は10%割引にいただいております。

バンケット

24日PM7:00より「世界のやまちゃん錦三大津店」にてバンケットを開催します。

参加費は3500円となります。参加ご希望の方は申し込み用紙に記入してください。

参加費は受付時にお支払い御願いたします。

名古屋市中区錦3-15-1 コース栄宮地ビル2・3F 052-971-2276

競技内容について

今回は DL 個人規定と DL チーム規定にテクニカルルーティーンを入れています。

WSKC では必須ですが、国内の大会ではあまり実施されないので、初めての方もみえますので、簡単に説明します。

テクニカルルーティーンは以前「フリー」と呼ばれていた事からも分かるように、決められた図形はありません。個人で1分～3分。チームで2分～5分の時間内で図形やトリックを組み合わせせて演技します。

バレーとの違いは、音楽に合わせるという部分がなくなるので、タイミングやウインドエリアの自由度が増しますので、より高度なトリックを組み合わせたりする事も可能になってきます。

もちろん、トリックは必須ではなく、たとえば、規定図形のいくつかを組み合わせたものなど自由に演技可能です。

いくら優れたトリックを成功させても、トランジションのストレートフライトでブレが目立ったり、ターンの切れが悪かったりすれば、トリックをしないフライヤーより得点が悪い場合もあります。

今回、テクニカルルーティーンを取り入れたのは、今回 WSKC を見てきて、世界選手権では必須となっているのに日本国内で開催されない事もあって、AJSKA の代表チームのハンディとなっているように感じたためです。

今回は、チーフジャッジに WSKC のジャッジでもある涌沢さんに来ていただく予定です。

ジャッジングについてあらためて教わる良い機会になればと思っています。

また、IRB ルールも今回一部変更があり、クラッシュやティックスの強制ペナルティーを取らないなど、より演技内容の本質で採点される方向に向かっています。

プレフライトミーティングではそれについても説明いたしますので、必ず出席していただくようお願いいたします。